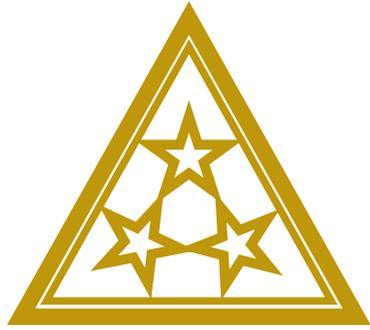


平成19年9月期

決算説明会

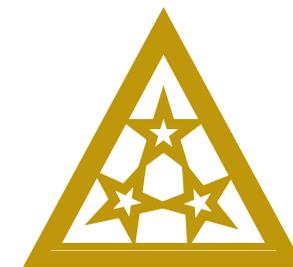
株式会社 中山製鋼所
NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.

平成19年11月15日



本日も説明の内容

1. 当社グループの概要について p 1 ~ 2
2. 19年度中間期経営成績
および19年度見通しについて p 3 ~ 11
3. 中期設備投資の進捗状況
および完成後の生産体制について p 12 ~ 17



1. (株)中山製鋼所(グループ)の概要

平成19年9月末現在

設立 : 大正12年(1923年)12月 創立 83年

所在地 : 大阪市大正区船町1-1-66

従業員数 : 当社 926名、グループ全体 1,928名

グループ会社 : 8社(連結子会社) 48拠点

<鉄鋼>国内拠点 41拠点

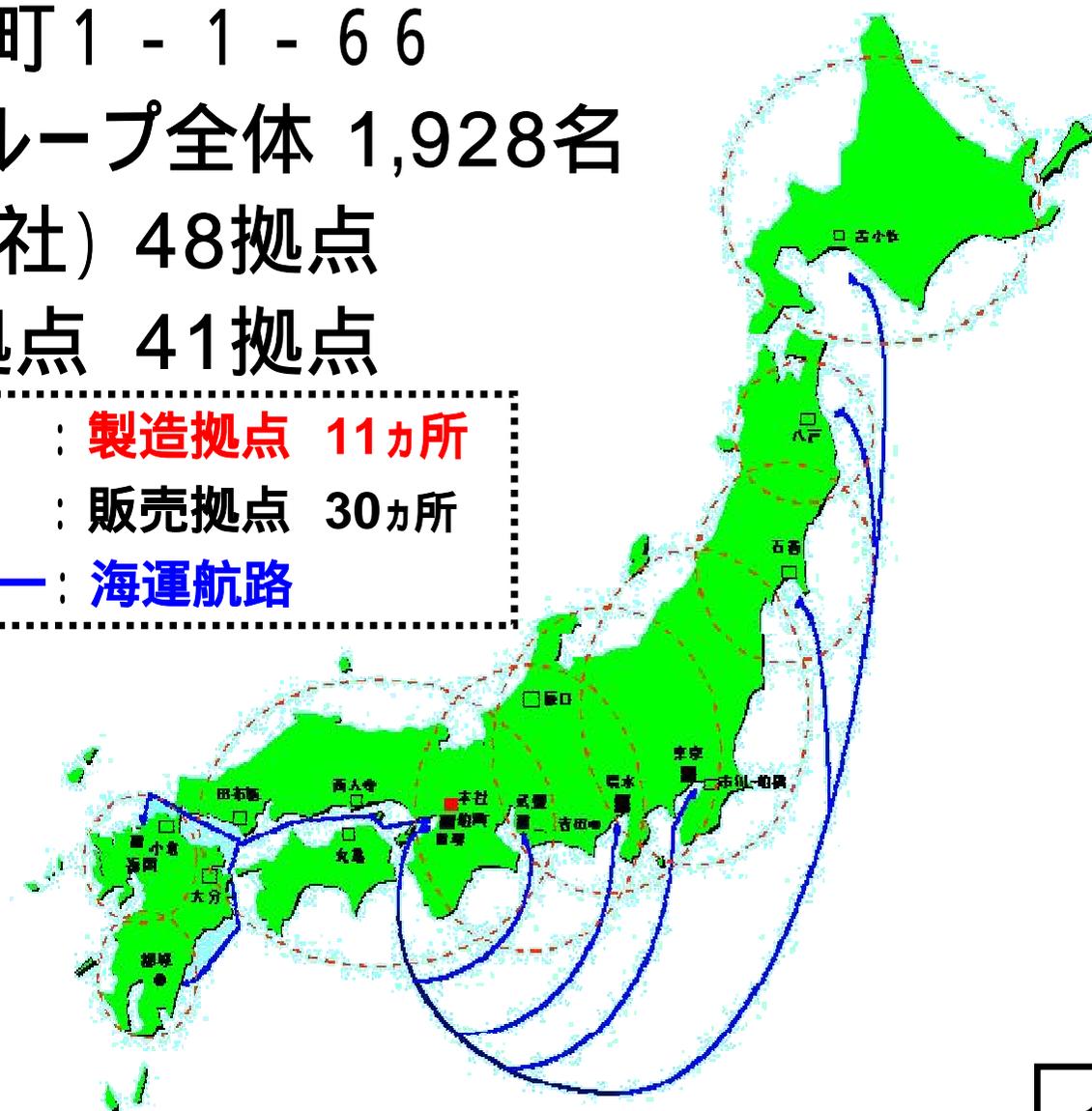
資本の状況

・自己資本 673 億円

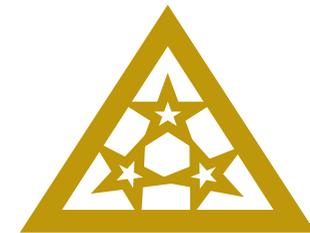
・発行済み株式総数

約 131 百万株

： 製造拠点 11カ所
： 販売拠点 30カ所
—： 海運航路

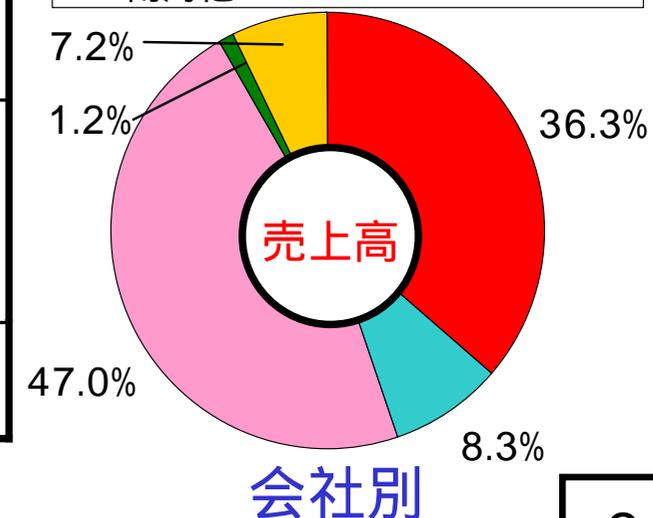
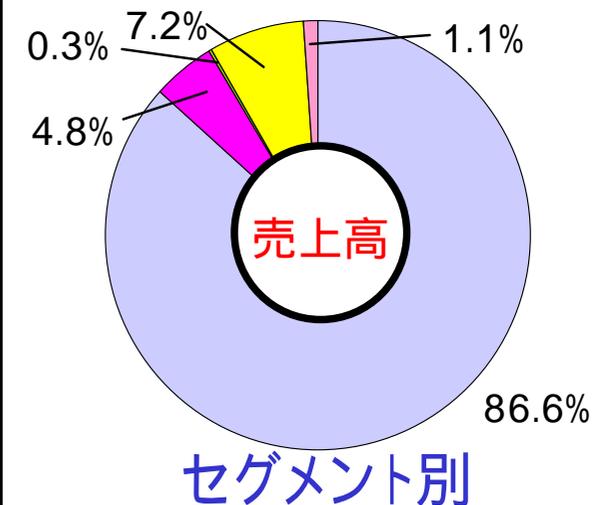


2. 中山製鋼所グループの事業内容

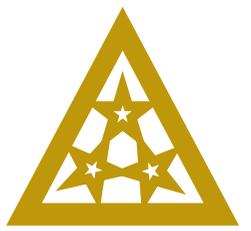


セグメント(連結)		社名	特徴
鉄鋼事業	鋼材製造販売	中山製鋼所	熱延コイル、薄物等に強み
	コークス製造販売	中山製鋼所	塊(大)コークスは新日鐵へ販売
	鋼材2次加工	中山三星建材他	C形鋼で全国トップシェア
	メーカー商社	中山通商	グループ流通の中核
	鋼材製品商社	三星商事	全国24営業所を展開
	グループ物流	三星海運	海運・陸運で全国をカバー
化学事業	化学薬品製造販売	南海化学工業	硫酸・ソーダ・水処理等
	化学薬品製造販売	富士アミドケミカル	農薬・医薬品・洗顔料 中間体
エンジニアリング	海洋・建設	中山製鋼所	鋼製魚礁でトップシェア
	鑄造・機械	エンジン事業本部	建設・プラント・鑄造
不動産		中山製鋼所他	遊休不動産の活用

< 構成比率 >



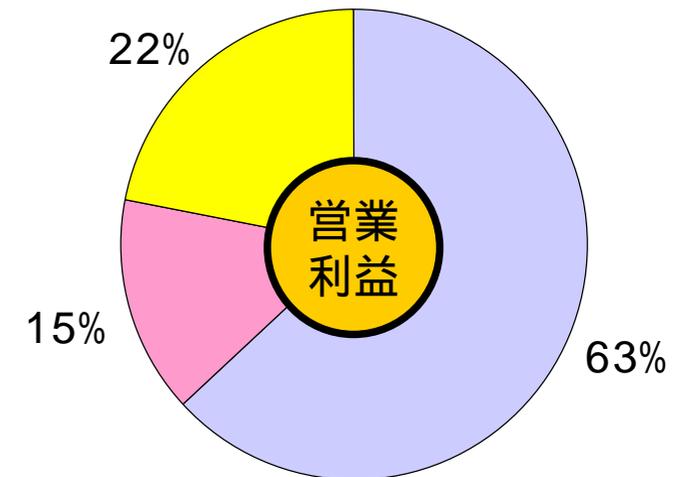
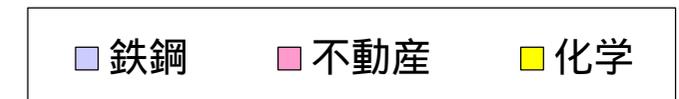
3 . 平成19年度 中間期の連結成績



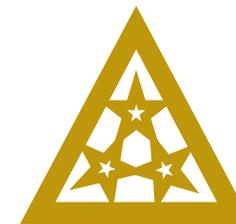
(単位:億円)

	平成18年度 上期	平成19年度 上期	増 減
売上高	958	1,002	+ 44
営業利益	37	16	21
鉄鋼 <small>(鋼材販売 コークス その他)</small>	33	11	22
エンジン	0	0	+ 0
不動産	2	2	+ 0
化学	3	4	+ 1
経常利益	32	10	22
特別損益他	21	20	+ 1
当期純利益	11	10	21

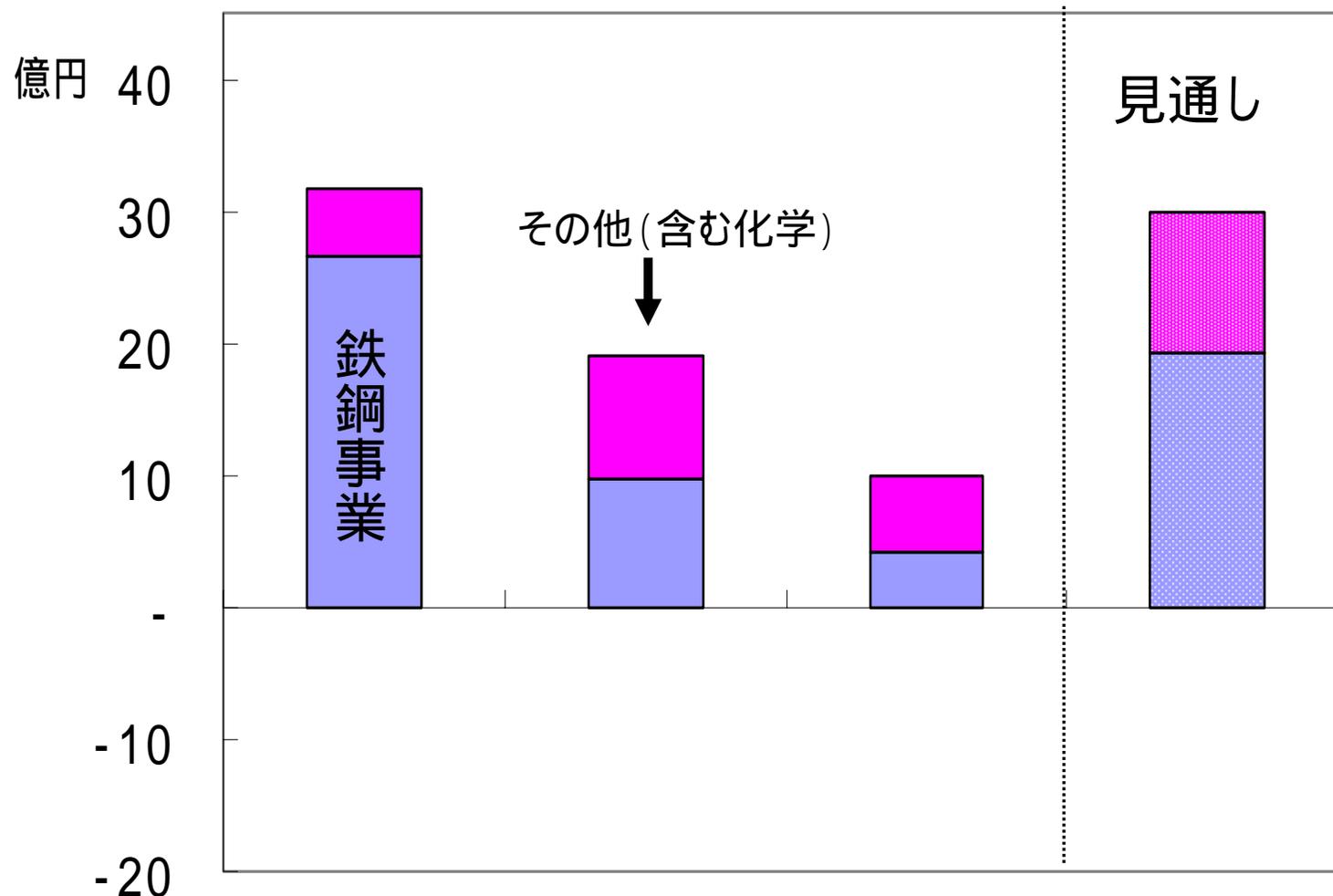
< 構成比率 >



セグメント別 営業利益



4. 連結経常損益の状況(1)

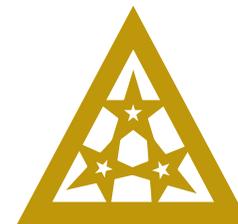


19/上 対 18/上

- 1.鉄鋼事業 23
 - ・スクラップ等
 - ・原材料高
 - ・エネルギー高
 - ・償却変更
 - ・工事影響
 - ・関連収益減他
 - ・販価上昇
 - ・原料炭下落
 - ・コスト削減等
- 94
- +71

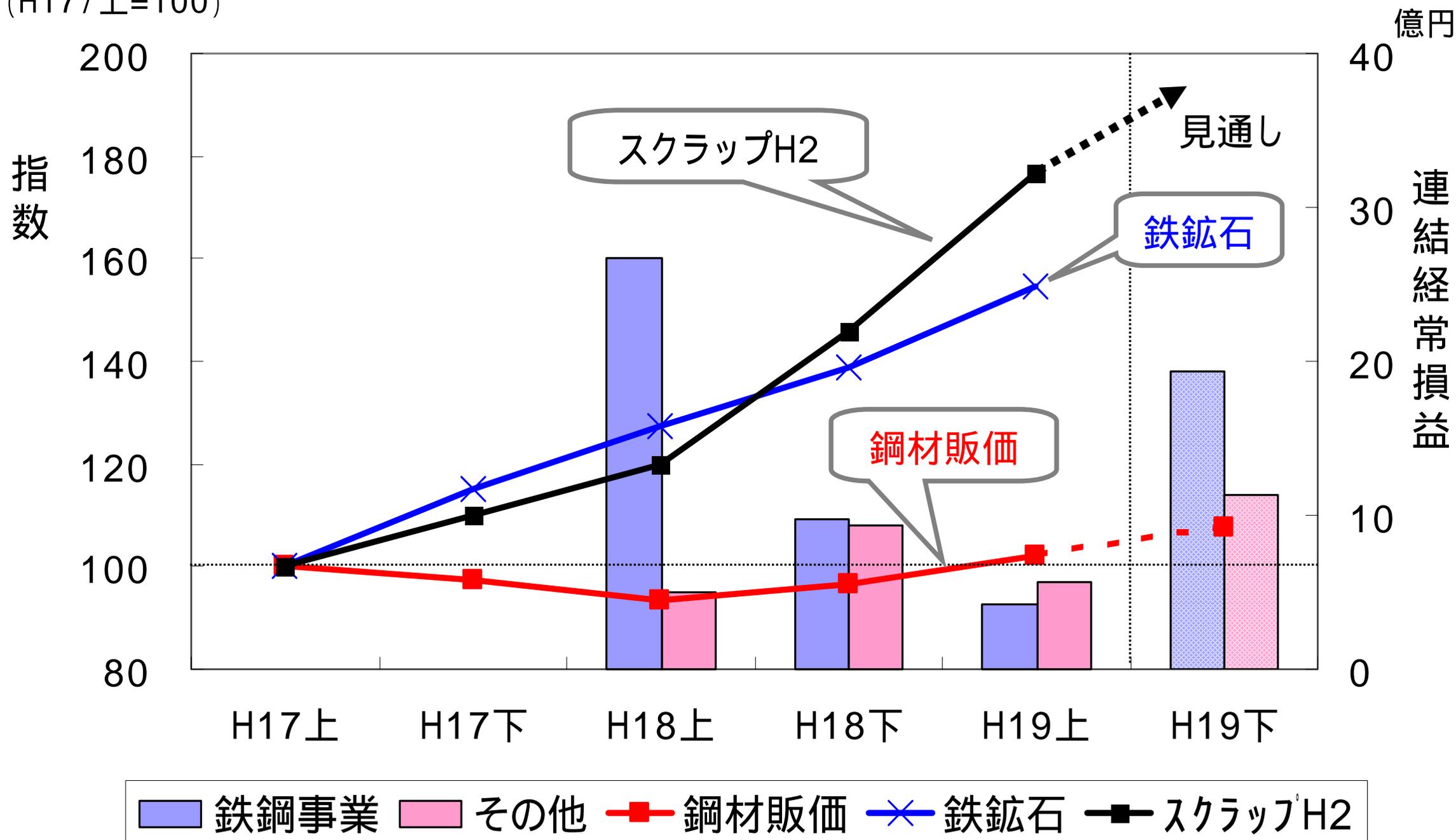
	H18上	H18下	H19上	増減	H19下
■ 鉄鋼事業	27	10	4	-23	19
■ その他	5	9	6	+1	11
合計	32	19	10	-22	30

- 2.その他(含む化学) + 1
- ・(農薬)販価上昇

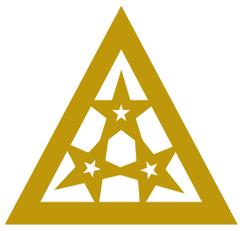


5. 鋼材販売損益の悪化要因(1)

(H17/上=100)

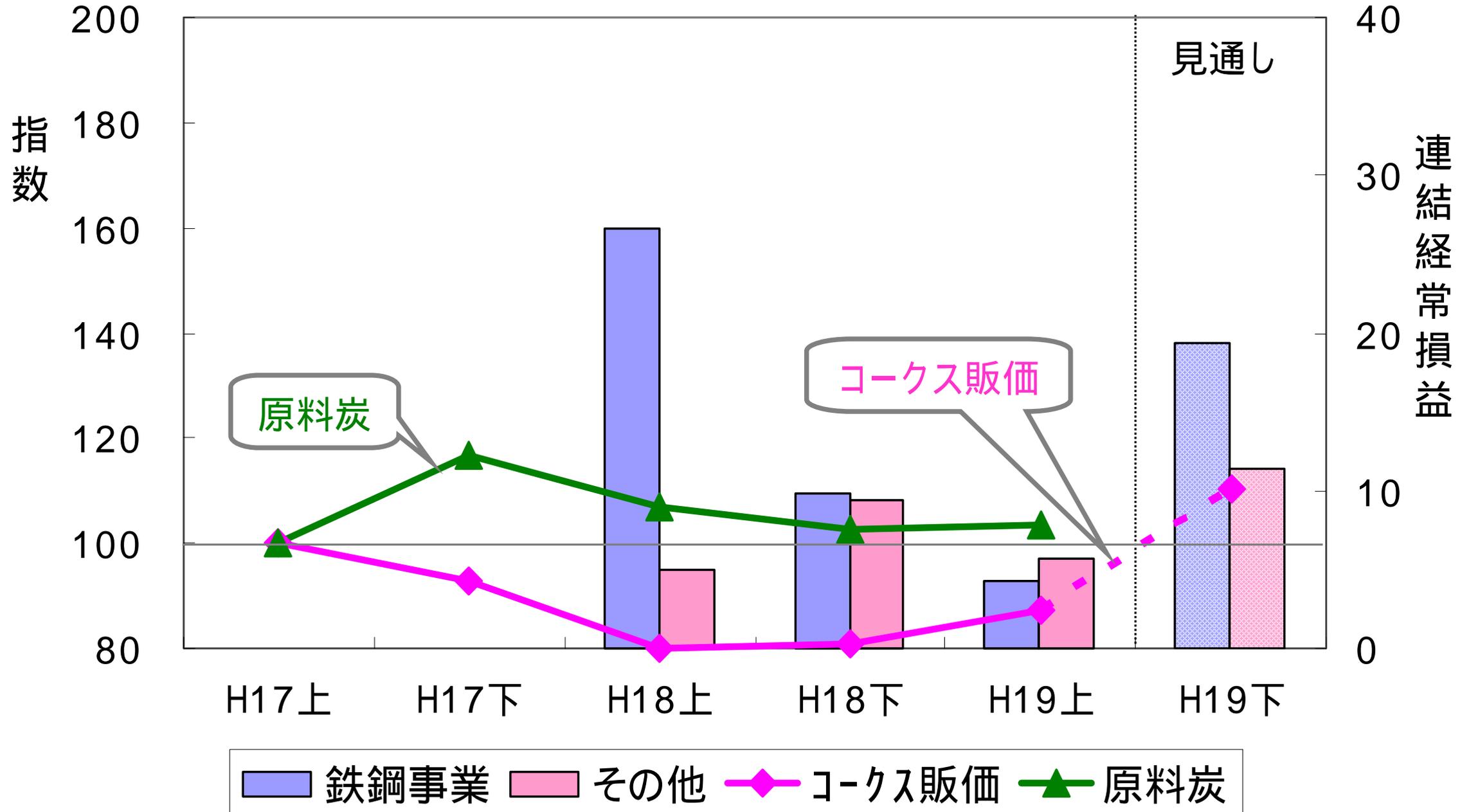


出所: 鋼材販売は当社、鉄鉱石は貿易統計(財務省)輸入金額/輸入数量、スクラップは日本鉄源協会を指数化



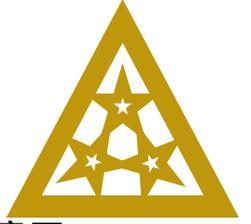
6. 鋼材販売損益の悪化要因(2)

(H17/上=100)



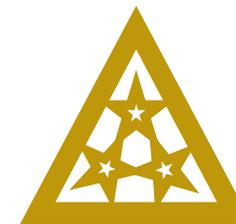
出所: コークス販価は当社、原料炭は貿易統計(財務省)輸入金額/輸入数量を指数化

7. 平成19年度 連結業績の見通し

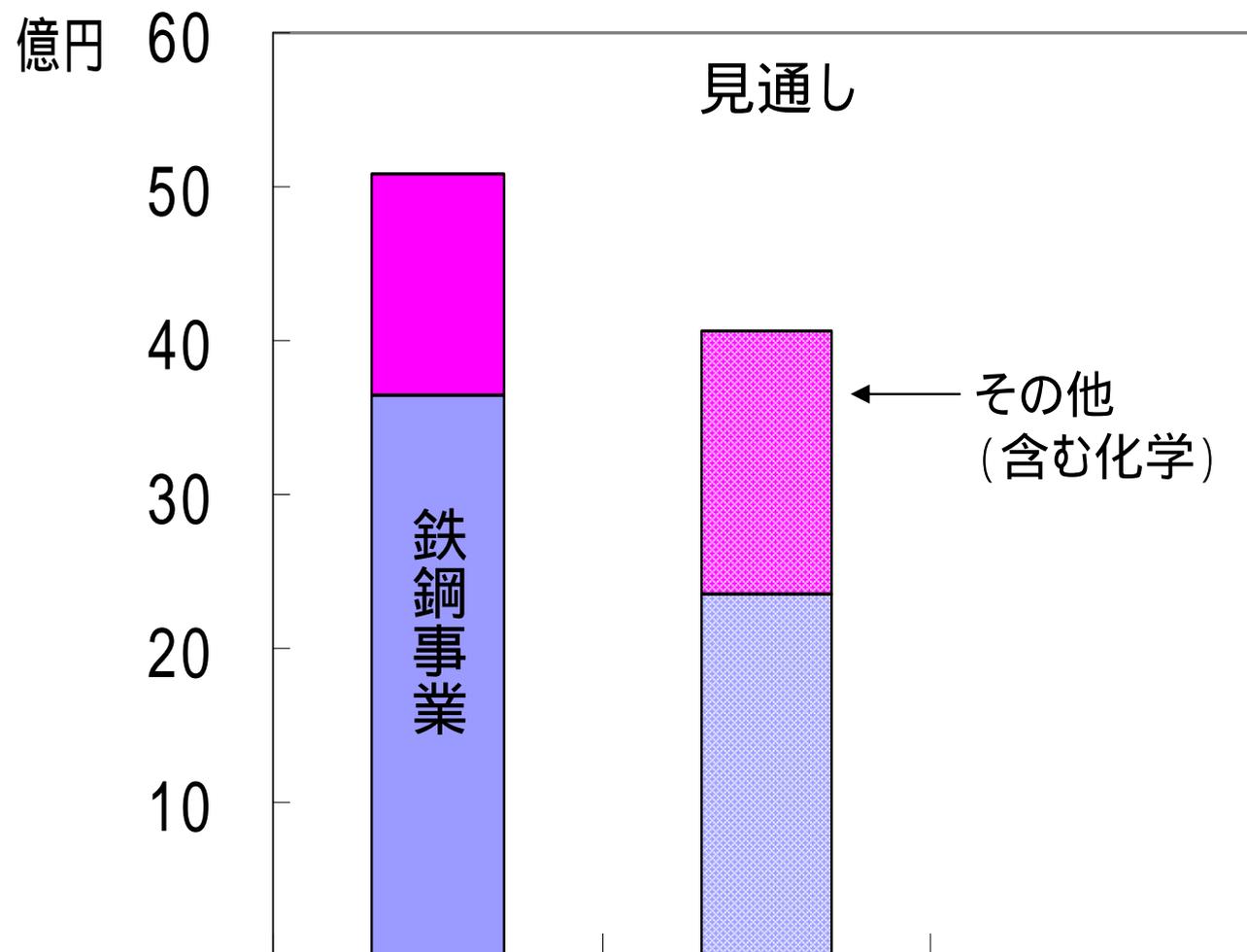


(単位:億円)

	平成19年度			平成18年度	前年度比
	上期	下期	年度	年度	
売上高	1,002	1,098	2,100	1,972	+128
営業利益	16	40	56	63	7
鉄鋼 <small>(鋼材販売 コークス その他)</small>	11	28	39	50	11
エンジ	0	2	1	1	+0
不動産	2	2	4	4	+0
化学	4	8	12	9	+3
経常利益	10	30	40	51	11
特別損益他	20	22	42	38	4
当期純利益	10	8	2	13	15



8. 連結経常損益の状況(2)



19年度 対 18年度

- 1.鉄鋼事業 14
- ・スクラップ等
 原材料高
 - ・エネルギー高
 - ・償却変更
 - ・工事影響
 - ・関連収益減他
 - ・販価上昇
 - ・販売量増
 - ・コスト削減等
- 170
- + 156

- 2.その他(含む化学) +3
- ・(農薬)販価上昇

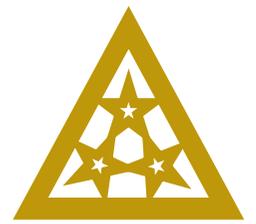
	H18年度	H19年度	増減
■鉄鋼事業	37	23	-14
■その他	14	17	+3
合計	51	40	-11

9. 連結 貸借対照表

(億円)



科目	平成19年9月期		増減 要因	科目	平成19年9月期		増減 要因
	実績	前期末 比			実績	前期末 比	
流動資産	863	+87	流動化実施減他 鋼材、スクラップ 石炭の在庫増他	流動負債	744	+69	設備 +76 原材料他 +18 ↓ 借入 +124
現預金	60	+17		買掛債務	419	+94	
売掛債権	462	+33		借入金・社債	285	13	
棚卸資産	328	+40		その他	40	12	
その他	12	3		固定負債	865	+137	借入 +124
固定資産	1,596	+108	借入金・社債	548	+137		
有形・無形	1,451	+103	引当金 等	98	+0		
投資 他	146	+5	繰延税金負債	219	0		
資産 合計	2,459	+195		負債 合計	1,609	+206	当期 純利益 10 配当金 4 他
			<有形・無形> 償却 38 投資 +149 他	株主資本	483	14	
			株式購入 +2他	評価・換算差額等	190	+1	
				少数株主持分	177	+2	
				純資産 合計	850	11	
				負債及び純資産 合計	2,459	+195	

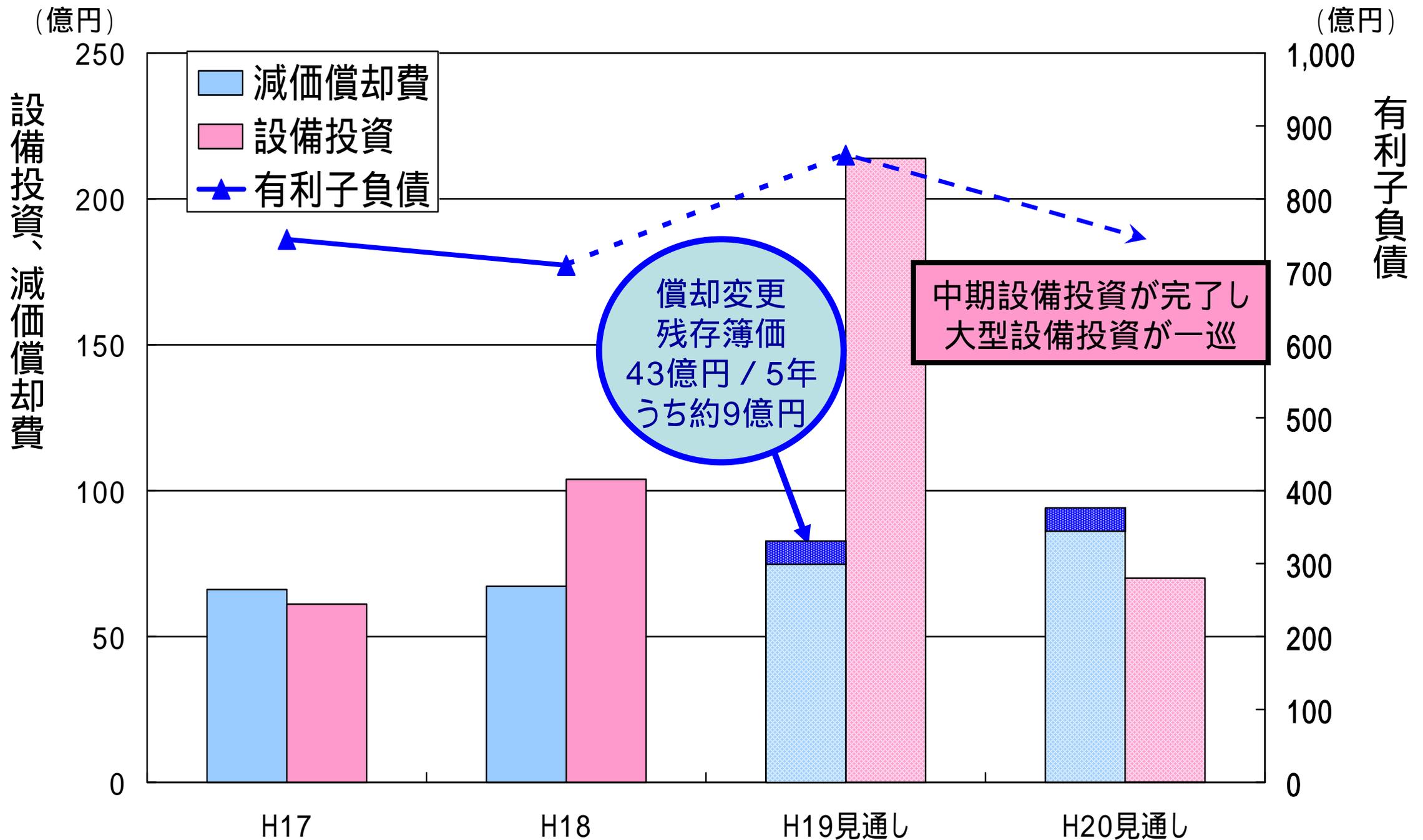
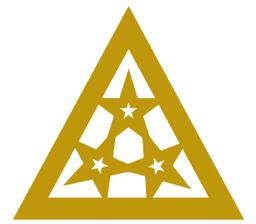


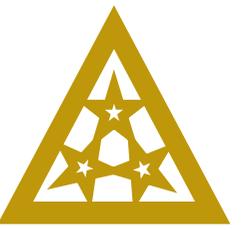
10. 連結 キャッシュ・フロー

(億円)

		平成19年9月期		
	営業活動	22	営業活動キャッシュ・フローの主な内訳	
	投資活動	80	税金等調整前当期純利益	3
	財務活動	114	減価償却費・資産除却	45
	増減	12	債権・債務の増減額	20
			棚卸資産の増加	42
			投資活動キャッシュ・フローの主な内訳	
			設備投資	73
			財務活動キャッシュ・フローの主な内訳	
			有利子負債の増加	124
			配当金支払	4
期末残高		55		

11. 設備投資、減価償却費と有利子負債の推移





12 . 中期経営計画：設備投資計画の概要

高級鋼化対応、生産性アップとコストダウン、物流合理化

< 設備投資の狙い >

- 1 . 品質の向上
～ 表面・板厚・板幅 精度アップ
- 2 . コイル商品力の強化
～ コイル単重25トン化(弱点解消)
- 3 . 高級鋼の増産
～ 圧延工程能力増強
- 4 . 商品開発力の向上

熱延(ホットストリップミル)

2号加熱炉建設

NO.2スキンパスミル

コイルボックス新設

電気炉連铸(CC)増厚拡幅

棒線高級品のための品質設備
～ 棒鋼高級品・受託の増加対応

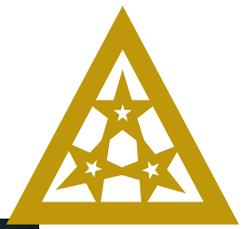
NS棒線オフライン検査精整
設備 増設・新設

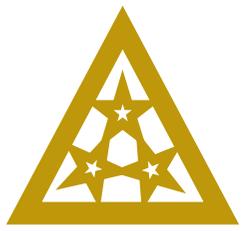
物流の合理化、コスト削減
～ 外部倉庫の集約、高級品対応

新倉庫建設

その他、一般(維持更新)

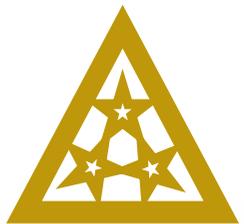
13. 主な中期投資設備(1)



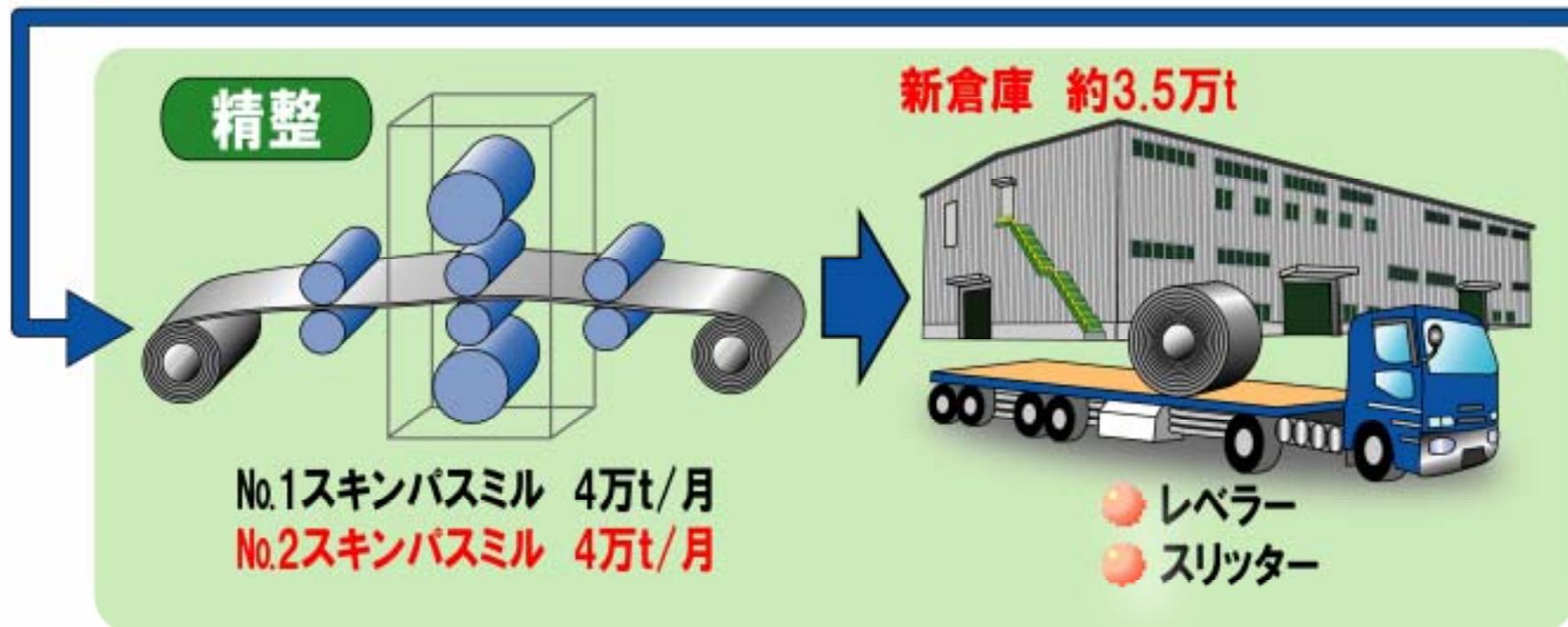
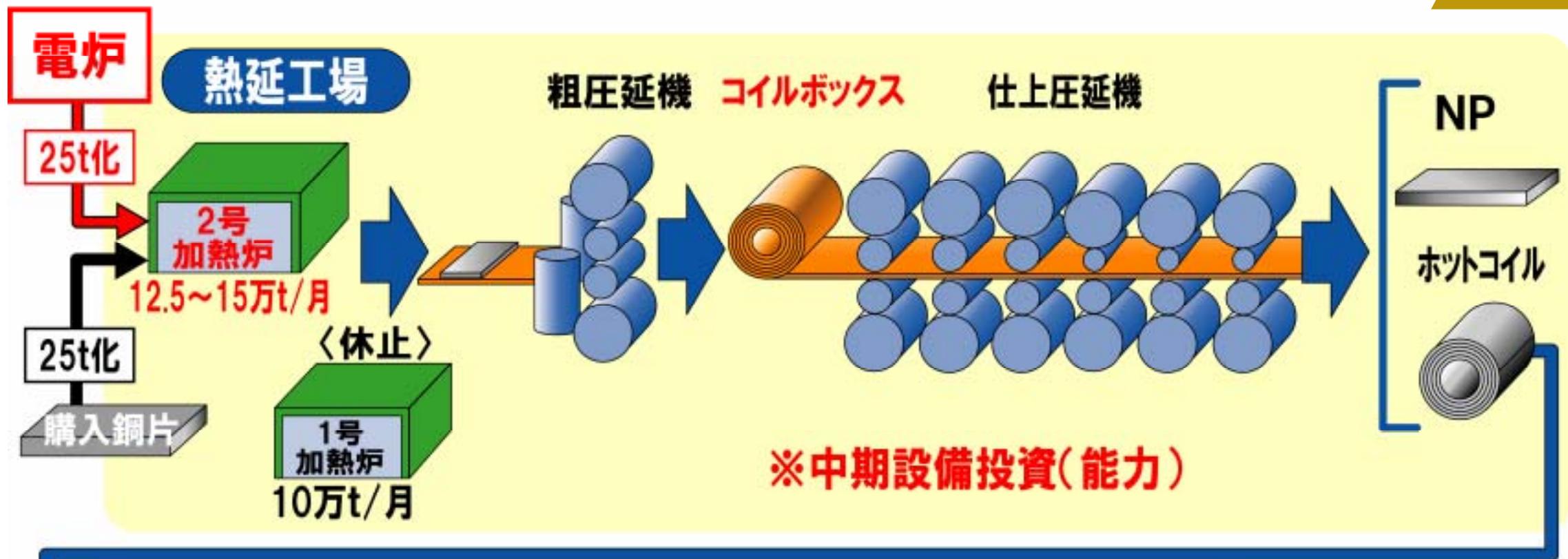


14 . 主な中期投資設備(2)



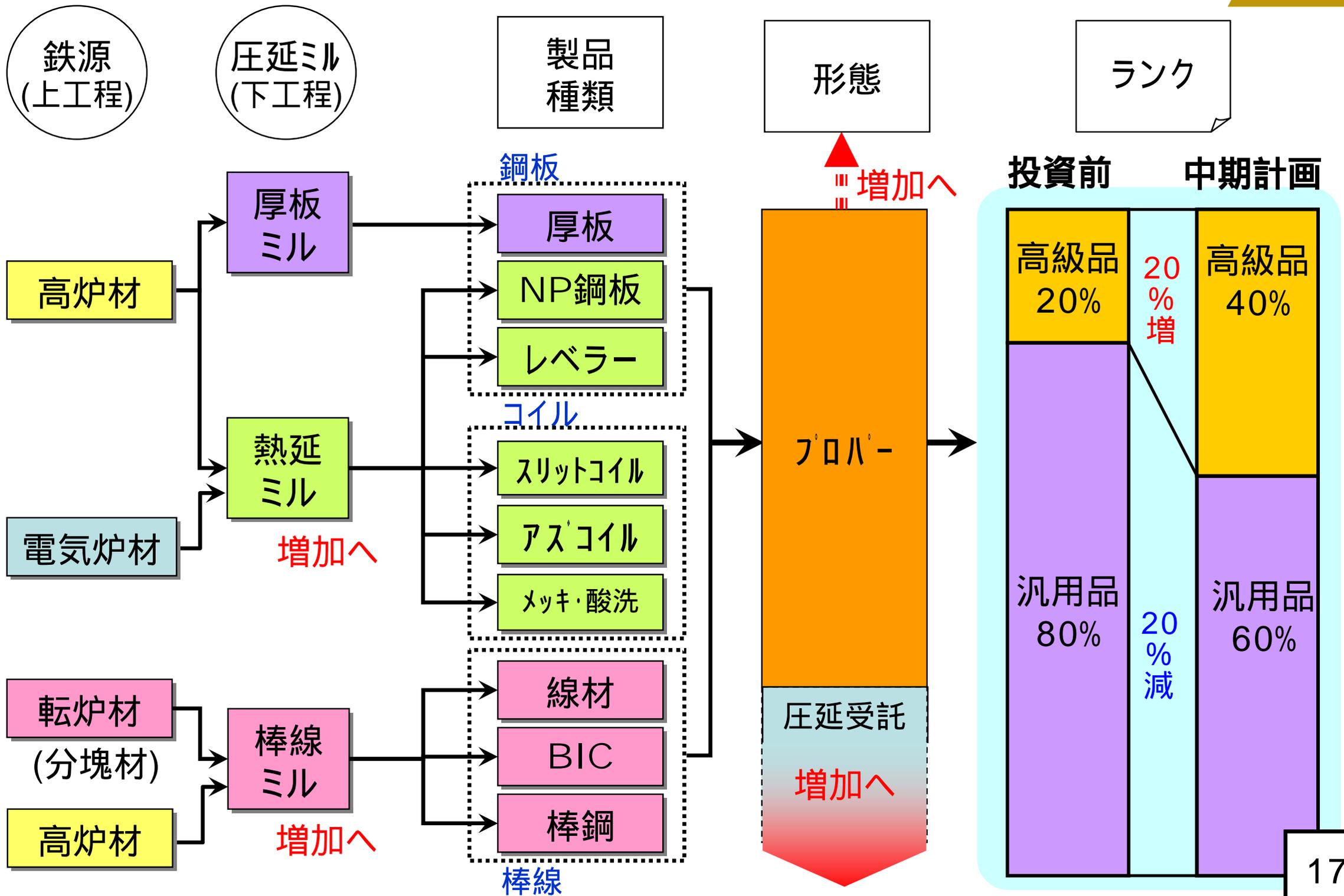
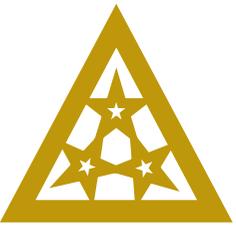


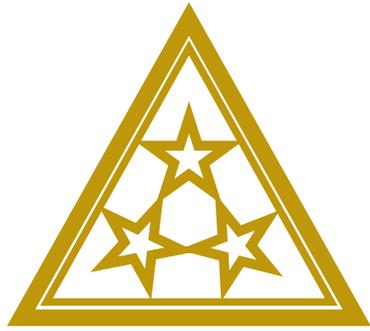
15. 薄板事業の新しい生産体制図



高級鋼化
+
生産能力

17. 中期設備投資完了後の生産・営業構造





平成19年9月期

決算説明会

株式会社 中山製鋼所
NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.

平成19年11月15日